十勝毎日新聞
発行所
十勝毎日新聞社
帯広市東1条南8丁目
編集㉒2121広告事業㉓2323
総務・経理・販売㉔2222
夜間㉒2125
振替小樽18328番
©1981十勝毎日新聞社

まごころこもる
おむすびは
なかはかつをたらのすじこ
それにうれしい
母の味
おむすび 駒屋
☎31-2921

音更町長に金子氏当選

神田氏に僅か36票差

保革相乗り 美唄方式が成功

【音更】任期満了に伴う音更町長選挙と町議補選は二十九日投票が行われ、即日開票の結果、町長には無所属、新人で元助役の金子尚一候補（五四）が前助役の神田均候補（五三）にわずか三十六票の差で初陣を飾った。また、二議席に四人が立候補した町議補選は無所属・新の堀合富士子候補（五二）と共産・新の重堂清子候補（三八）の女性二人が手堅く票をまとめて当選した。石狩、美唄に続き、保革相乗りのいわゆる〝美唄方式〟の勝利で、今後、帯広市長選や道内各級選挙に大きな影響を与えていくとみられる。

（11面に関連記事）

◇音更町長選（投票率八八・七九％）

当	九、七〇五	金子 尚一	54	無新
	九、六六九	神田 均	53	無新
	四九	西島 清	32	無新

（当日有権者二二、〇三〇、投票総数一九、五六〇、有効投票数一九、四二三、無効投票数一三五、持ち帰り二）

勝った　ダルマに勝利の目を入れる金子氏とトモ子夫人（右は河田幹事長）

投票は一部投票所を除き、午後六時で締め切られた。しかし、午前中好調だった有権者の出足も午後から鈍り、特に緑陽台、柳町両住宅団地の投票率が低く、最終的には八八・七九％（前々回五十年は九〇・三二％）と戦後の町長選挙では二十二年に次ぐ二番目に低い投票率となった。

開票は午後八時から本町の児童会館大ホールで始まったが、激しかった選挙戦を物語るように、一般参観人席はたちまちいっぱいとなり、中に入れない熱心な支持者がロビーにあふれ出した。

各候補の得票は午後九時から十五分間隔で発表されたが、金子、神田両候補に得票差が出たのは第三回目の同九時半。しかし、次の発表で再び同数となり、詰めかけた参観人もかたずを飲んで開票を見守っていた。

ところが、午後十時十五分になっても両候補の得票は依然として同じ。選管からは残票整理という説明があっただけで、時間が刻々と過ぎた。

金子候補当選が決まったのは午後十時五十分過ぎ。金子選対では同五十七分、河田佐太郎幹事長が勝利宣言を行い、音更町長選挙ではかつて例のない僅（きん）差で金子氏が初陣を飾った。

超党派で選対を構築した金子陣営。その最大の勝因は「主要団体長が相手候補を推薦したのに対し、組織、地位もない住民サイドの運動が勝利に結びついた」（茂古沼勲本部長）と分析するが、わずか三十六票という少差では今後の金子町政も決して安泰ではない。

役場在職中は〝切れ者・金子〟と言われ、その行政手腕は高く評価されたが、過半数を超える野党議員を相手にする議会対策、さらには道、中央との連携をいかに強め、大型事業を導入するかは金子新町長の手腕にかかっている。

超党派といいながらも社会党を核とする革新系は「今回の選挙に勝利しなければ今後の首長選挙はない」と完全に潜行型の戦術を組み、見事に票を取りこんだ。そんなことからも来年に迫った帯広市長選、さらには知事選に与える影響も、重大で、〝音更方式〟は今後の首長選挙に大きな波紋となって広がろうとしている。

行政を住民に近づけていく

金子氏が抱負

当選した金子氏は多少緊張した面持ちで「正直いって、まだ実感がわかない。住民参加で町長を選ぼうという町民の新しい感覚が芽生えた。真実だけを訴えてきたことが共感を得たと受け止めているが、役場職員に対しては住民の声を十分に取り入れていくよう指導し、行政を住民に近づけていく。当面は町民が作り上げた総合計画に沿って町政を進め、また、これだけ激しかった選挙戦だけに多少シコリは残ると思うが、時間をかけて理解を得ていく」と語った。

金子尚一氏の略歴

大正十五年八月、音更町生まれ。十八年十二月、函館工業高校機械科卒。二十一年九月、音更町役場奉職。教育次長、厚生、産業、総務各課長、建設、民生、経済、総務各部長を経て五十三年三月、助役に就任。五十四年三月退職。同年六月、北海道データーサービス取締役、五十六年二月、退社。五十四歳。

革新に金子票上乗せ

神田、平亜流色ぬぐえず

解説

音更町長選は石狩町、美唄市に続いて、またも保革同舟のいわゆる〝美唄方式〟の勝利に終わった。

金子氏勝因の第一は候補擁立時にあった。保守系幹部は昨年十二月に平正巳町長が不出馬を表明した後、金子、神田両氏に出馬を打診した。

保守陣営は結局「病身の平町長を助け、〝町長代行〟として重責を果たした」神田氏を擁立、〝無投票・一本化〟の図式を描いたが、そこに大きな〝落とし穴〟が待ち受けていた。

「無投票を意図した候補選びは町民の権利を奪うものだ」という声である。金子氏を支持する一部保守が反発してたもとを分かち、個人参加の住民組織を標ぼうする社会党系中心の革新グループがこれに同調、再三固辞した金子氏のかつぎ出しに成功した。

金子氏は神田氏同様、保守サイドの人間であり、二年間のブランクはあったにしても三十四年の役場在職中に主要ポストを経験、町行政に精通し、しかも〝金子個人票〟といわれる強力な支持層を持っていた。また、ここ数年の各級選挙のデータにみられる「保革の差は千票」という見方に立つ〝保守票盗り〟が出来る最強の候補だったわけだ。

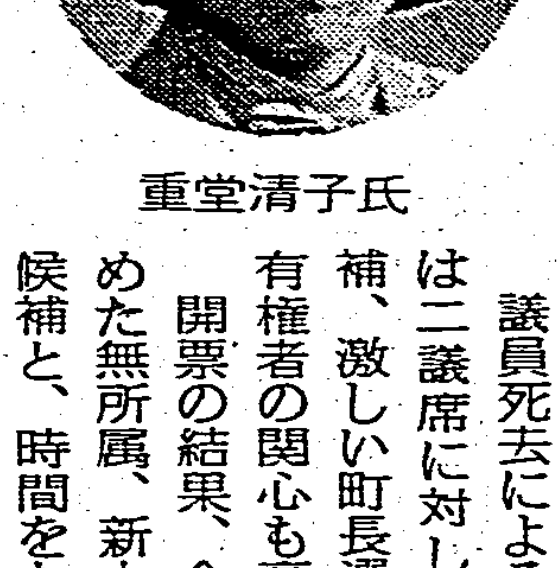
金子後援会―選対は〝呉越同舟〟の寄り合い所帯に違いはなかったが、その組織運営は明らかに革新主導。いかにして〝革新色〟を表に出さずに中和、かつ持続させ、町民の理解を得るかが大きなポイントだった。だが、その結果は終始「真の住民自治確立という理想選挙」（茂古沼選対委員長）の前に結集、神田陣営に先行された農村部票を分断、点から面へと広げ、市街地では文字通り潜行型の取り組みで票を丹念に掘り起こし、勝利に結びつけた。

神田陣営の敗因は町民に不満の多かった平町政と神田氏は一体というイメージを強く、有権者に与えたこと。新人でありながら最後まで現職のような印象をぬぐえなかった。美唄の経験から「純然たる保・革の戦い」と旗色を鮮明にし、保守票の流出を防ごうとしたが、組織内の指導力の弱さもあり、運動を弱体化させてしまった。しかし、告示前後からは金子票をかなり切り崩し〝ミニ雪崩〟を呼んだが、決定打に欠けた。〝天下分け目〟の北九線以南の投票率が平均八五％前後と、他地域の軒並み九〇％台に比べてかなり下回ったことが敗因につながった。

（林　昌弘報道部長）

町議補選 堀合、重堂の二女性

堀合富士子氏


重堂清子氏

議員死去による町議補欠選挙は二議席に対して四人が立候補、激しい町長選に誘発されて有権者の関心も高まった。

開票の結果、全町的に票を集めた無所属、新人の堀合富士子候補と、時間をかけて支持活動を続けてきた共産・新の重堂清子候補が当選、三十年から二期務めた山田ひささん以来の婦人議員誕生となった。また、鈴蘭地区から立起した無所属・新の清水要吉候補は出遅れがひびき、今一歩およばなかった。

◇町議補選（投票率八八・七七％）

当	七、一八三	堀合富士子	52	無新
当	五、八〇二	重堂 清子	38	共新
	五、二〇八	清水 要吉	60	無新
	八一一	阿部 勝治	69	無新

（投票総数一九、五五七、有効投票数一九、〇〇四、無効投票数五五二、持帰り一）

「十勝川」「帯広空港」詩情豊かに

記録映画 相次いで完成

市、観光PRなどに活用へ

完成した記録映画二本のフィルム

「十勝川」と「はばたく十勝・帯広空港」というタイトルの記録映画がこのほど相次いで完成した。「十勝川」は帯広開発建設部、「はばたく十勝・帯広空港」は帯広市などが企画、いずれも毎日映画社が製作したものだが、関係者を集めた試写会では「単なる記録映画でなく、十勝の自然、催しなどを盛り込むなど内容がソフトで良く出来ている」と好評だった。

完成した両記録映画ともイーストマンカラー16ミリで、脚本・演出は元俳優の片山明彦さんが担当。「十勝川」は上映時間三十八分、ナレーターは元TBSアナウンサーの見城美枝子さん。「帯広空港」は同二十八分、NHKアナウンサーの和田篤さん。「十勝川」は五十四年秋に、「帯広空港」は五十二年秋にクランク・インした。

「十勝川」は、〝母なる川〟という存在を改めて住民に知ってもらおうーと、企画された。十勝川は大雪、日高連峰を源として延々百五十六キロ。広大な十勝平野を潤し、太平洋に注いでいる。かつては、洪水に襲われ〝暴れ川〟だったが、河川改修、護岸、かんがい排水などの工事が進められ、最近ではすっかり落ち着いている。

しかし、水量は少なくなり、産業、都市生活排水などで汚染が進んでいることも事実。このため、映画は十勝川の源流の十勝岳中腹から河口の大津まで百五十六キロを上空から追い、その間に展開される自然、川と人間とのドラマ、農林水産業、住民生活への恩恵などをドラマチックに紹介しながら、河川浄化の必要性を強く訴えている。

一方、「帯広空港」は、新空港の五十二年秋からの建設状況をつぶさに紹介。その中で四季に合わせて十勝の〝風物詩〟をタイミング良く織り込んでいる。映画では三月一日の感激のオープンセレモニーの模様、外国行きチャーター便一番機の出発風景なども収録されている。

これまで記録映画というと、とかく硬い内容のものが多かったが、今回の二本の映画は一般の人が見ても良くわかるようソフトタッチになっているのが特色。たとえば「十勝川」では、秋のサケ漁を詩情豊かに歌いあげ、「帯広空港」でも、氷まつりの植村直己氏の犬ゾリレース、平原まつりの阿波踊り、池田町のワインまつりなどを織りまぜている。

企画した関係官庁側では今後、この映画を各種会合などいろいろな機会に上映し、十勝の実情を住民に良く理解してもらうとともに、観光PRなどにも利用していく計画。「十勝川」は最近増えている外国人視察者用に英訳フィルムを作る計画もあるという。

合成洗剤使用抑制を

市公害対策審 田本市長に意見書

帯広市公害対策審議会（西武会長、十人構成）はこのほど、田本憲吾市長に「リンを含む合成洗剤の使用抑制」の取り組みに対する意見具申を行った。

合成洗剤は汚れ落ちをよくするリン化合物を洗たく用の粉末で六―一二％、台所用の液体で二―三％含んでいる。このリンが湖沼や湾内に流入、植物性プランクトンなどを異常発生させて富栄養化を促進、赤潮発生など水質汚濁の原因を生み出している。

特に帯広市の場合は洗剤など生活汚水のほか、畜産、畑作業なども盛んなため、例えば帯広川の総合リン数値は0・54～0・87PPMで、石狩川の0・06～0・21PPM、創成川の0・05～0・36PPMと比べると含有量はかなり高い。

この実態を考慮し市が同会議に「有リン洗剤の使用抑制」に対する意見を求めたのが昨年十二月下旬。同審議会では二回の会議を開いて検討を重ね意見を集約、二十五日午後二時、西会長から田本市長に同対策の意見書が手渡された。

内容は①公共用水域の水質汚濁を防止し市民の生活環境の保全のため、リンを含む合成洗剤の使用についてはその無リン化を促進していく必要がある。具体的な取り組みとしては市民への啓もうと業界への要請活動を積極的に行っていくべきだ②合成洗剤以外の都市生活系、工業系、土壌系、畜産系などに由来する有リン排水について今後、適切な抑制策を講じていくべきだーというもの。

スポーツ傷害保険の加入受付け

帯広市教委は四月一日からスポーツ安全協会傷害保険の加入を受け付ける。社会教育、体育の普及でスポーツ人口が伸びているが、これに伴ってスポーツ活動中の傷害も増加の傾向にあるため、スポーツ愛好者多くの加入が望まれている。

この保険に加入できるのは指導監督者を置き、かつ十人以上の常時明確には握されているスポーツ団体員で構成しているスポーツ団体や社会教育関係団体。同保険の対象となる傷害は団体活動中の傷害（学校管理下での事故を除く）、団体が指定する集合、解散場所と通常の経路往復中の傷害。

保険料は年間、地域スポーツクラブ（ママさんバレー、朝野球など）が六百八十円、スポーツ少年団、子ども会などが三百四十円。保険補償金額は死亡千二百万円、入院が日額千五百円、通院が同千円。

五十五年度の同保険加入状況は百三十八団体、六千二百人。「年々四、五％は加入が伸びている」（スポーツ課）とのことで、この理由としては保険の意義の認識が深まった、スポーツ少年団が増えた、企業単位の加入も増加したーなどを挙げている。

加入手続きは四月一日から七月三十一日までの間に市総合体育館事務室で加入依頼書を受け取り、注意事項を確認のうえ保険料を振り込むとよい。詳細問い合わせは同体育館（㉒7898）まで。

金融・不動産の相談は
帯広商事
大通南12丁目 ☎24-4515

子ども手工芸教室

【新得】子供たちに図書館をもっと身近な施設として利用してもらい、道具を使って物を作る楽しみを味わってもらおうーと、町立図書館（田近正俊館長）主催の「子ども手工芸教室」が四月一日午後一時から同館視聴覚室で開かれる。

同教室の講師にふきのとう文庫の藤川乃武子さんを迎えて、染色和紙を利用した紙細工やセロファンを使った光る壁掛け作りを指導する予定。

十勝川を守る会総会

十勝川を守る会（三浦永一会長）は四月十一日午後六時から帯広地区労会館会議室で第四回定期総会を開く。総会では新年度の活動方針、予算などを決めるほか、役員を選出する。

交差点

一級販売士に合格

道東東芝帯広営業部
佐藤　章さん(39)
帯広市西8北1

つい先日の販売士検定試験で一級を取りました。帯広では通算四人目の合格者ということですが、今の気持ちはホッと一息というところ。社内では月に一回勉強会を開くほど販売士熱が高く、部長として部下の手前もありますからね。もちろん、マーケティングから商品管理まで仕事にプラスになる実践知識ですから、これからも社員と一緒に勉強を続けていかなければーと思っています。

建てる身になって

中塚建設有限会社社長
中塚　勝美さん(51)
帯広市西16南6

二年前にアラスカからヒノキを直輸入し、十四戸のマイホームを建て喜ばれました。その後輸入が途絶えたので、安い木造住宅や、狭い土地に効率的な住宅建設に創意研究を重ねています。裸価格三・三平方㍍三十万円以下で喜んでもらってます。また四十五平方㍍に三階建て百二十一平方㍍の家も建て感心されました。建てる身になって一軒ごとに一工夫。私の身上です。もうけ抜き、貧乏性なんですね。

◇北洋相銀人事（4月1日付）

▽人事部調査役（帯広支店長）千葉昭夫▽帯広支店長（すすきの同）小倉淳

天気予報

概況　北海道付近は大陸から張り出している高気圧に覆われており、十勝地方では良い天気になっている。三十一日から四月一日にかけても高気圧の圏内で良い天気が続く。

▽30日夜　北西の風、晴れ。海は多少波がある。

▽31日　西の風が日中南の風に変わり、晴れ、昼過ぎには時々曇る。海は多少波がある。

▽31日　日の出 5時12分　日の入 17時51分

最高気温（29日）4・5度
最低気温（30日）−2・2度

十勝港の満潮干潮（31日）
満潮 1時50分 9時38分
干潮 5時14分 18時4分

毎日片々

注目の音更町長に金子尚一氏。懸案事項山積の音更町。新町長に寄せる住民の期待大。

◇

官公庁が記録映画製作、観光PRにも役立つ。有効に使ってこそ税金が生きる。

◇

足並み乱れながらもスタート生乳個体検査。運営が気懸かり、あとは団結力。

◇

婿養子が口論の末義父母に切りつけ、自宅に放火自殺。なさぬ仲の悲劇というか。

◇

おびひろ動物園、開園まで一カ月。サル山も同時オープン。観客動員につながるか?。

本日12ページ

編集余録

天才画家の努力

豪放無比な画家として知られていた横山大観は、実は綿密周到な、刻苦勉励の人だった▼二十三年前に亡くなった大観は、逸話の多い人だった。たとえば「スケッチや下図をせず、いきなり本画にしてしまう豪気な天才画家だ」といった神話めいたものすら通用する人だった。日本近代絵画全集横山大観（三十七年刊）の著者吉沢忠も「制作を行うばあいに、下図らしい下図をつくらなかったが〝生々流転〟ばかりは、かなり綿密な下図をつくった、といわれる」と書いている▼ところが最近になって、その「生々流転」の小下絵「こじたえ」をはじめ数多くの習作が発見され、うち五十点が、いま東京・上野、松坂屋で開かれている横山大観展で初公開されている。余録子も一度見たことがあるが、重文指定の「生々流転」は長さ百三十五尺八寸（四十一㍍余）の長大な絹本水墨の絵巻物で、再興第十回院展に出品したが、その初日に関東大震災に見舞われるという運命に遭遇した▼大観は、広島県の名酒「酔心」をかたむけながら一挙に本絵を画くような荒っぽい画家でなかったことが、これではっきりした。大観は、ほかの画家以上に写生にはげみ、下絵をつくり、納得いくまで習作を重ねたあげく作品に結晶させた努力の人だった。準備作業が十分になされていればこその、あの豪快な画面だったのだ▼大観に伝説のたぐいが多いのには、理由があった。昭和二十五年に、ほぼ一年がかりで速記をとったものをもとにした「大観画談」でも見る通り、大観は制作技法上の苦心などは話さぬ人だった。それに大観は、美術学校の教え子は別として、生涯、弟子は一人も持たなかった。したがって、制作の現場を見た者はほとんどなかったわけで、そんなところにも「伝説」発生の余地があったのだろう▼大観は「師弟の関係というものは、まことに美しいものですが、弟子をこしらえるならば、世界の人間を弟子にするくらいの気概をもつべきだと思います」と語っているが、なるほど、かれの師・岡倉天心は、そのような「先生」にほかならなかった。ーなつかしむ友の面輪や月おぼろ　古句（M）

ご入学・ご進学・ご就職
お目でとうございます。
人生の節目・慶事等これからも大変です。目標とコースを決めてムリなく貯蓄、今日からお始め下さい。
帯広しんきんの
マイ・プラン積金 大願
ゆたかなくらしに 帯広しんきん

選びぬかれたプロのオイル
ザーレン
近畿油化株式会社
いままでのオイルでこのようなご不満はありませんか？
(1)エンジンから異音が発生し振動も大きい
(2)オイル減りが多く燃費が悪いような気がする
(3)高速道路を連続でぶっとばしたら圧縮が弱くなった
(4)アクセルの踏み込みにパワーの反応が思わしくなくイライラする
(5)市街地のノロノロ運転にも連続高速にも耐えるネバリがほしい
(6)新車に4―5年乗るとエンジン寿命がなくなるのではないかと思う
(7)冬場の始動が困難でその上ウォーミングアップにも時間がかかる
(8)公害対策車の触媒コンバーターがいたみやすくないか？
(9)無鉛ガソリン使用のため排気バルブの異常摩耗が起こる？
※あなたもまずザーレンオイルを入れてエンジンをかけてみませんか!!
主な特長
●低燃費節約
●パワーアップ
●エンジン音の低減
●エンジンとオイルの寿命延長
オール十勝ザーレンフェスティバル
4月30日まで
20ℓ缶で買えばお値段も格安。あなた専用のオイルを整備工場にキープ
あなたに代って管理からオイル交換まで当整備工場が責任を!!
お問合せ、お求めは下記十勝地区ザーレン指定販売店の優秀整備工場へ――！
帯広地区 (有)上嶋自動車整備工場 帯広市西15条北4丁目2 ☎24-6381
帯広自動車販売(有) 帯広市稲田町南9線西5 ☎48-2383
札幌自動車販売(株) 帯広市西10条南9丁目2 ☎24-1750
(株)三和自動車 帯広市稲田町南9線西5 ☎48-2501
大正地区 (有)上田自動車工業 帯広市大正町本通2丁目 ☎64-5115
中札内地区 中札内自動車工業 河西郡中札内市街 ☎01556-7-2606
広尾地区 石田自動車(有) 広尾郡広尾町丸山通北1丁目 ☎01558-2-2427
芽室地区 澤田自動車(有) 芽室町西8条5丁目1 ☎01556-2-2281
新得地区 (有)狩勝自動車工業 新得町字新得東1線32 ☎01566-4-5216
幕別地区 足利モータース 幕別町札内共栄町153 ☎24-5145
池田地区 広部自動車(株) 池田町字大通4丁目12 ☎01557-2-2270
浦幌地区 和光自動車整備工場 浦幌町字万年359 ☎01557-6-2245
音更地区 ゴトウ自動車整備工場 音更町字新通り2丁目 ☎01554-2-2435
士幌地区 牧田商会自動車整備工場 士幌町東本通り8番地 ☎01564-5-2102
上士幌地区 上士幌自動車整備工場 上士幌町東3線242 ☎01564-2-2356
本別地区 カーサービス本別 本別町勇足153―7 ☎01562-4-2527
足寄地区 ムトウ自動車整備工場 足寄町字足寄344 ☎01562-5-2578
陸別地区 (有)陸別自動車工業 陸別町字陸別分線5 ☎01562-7-2537